

3. 市街地整備方針

(1) 基本的な考え方

○県中部の中心都市にふさわしい拠点の形成

鳥取県中部地域の玄関口である倉吉駅から打吹地区にかけての中心市街地を核として、県中部の中心都市にふさわしい商業・業務・医療・教育など多様な都市機能の維持・増進と良好な街なみづくりを進めます。特に中心市街地のにぎわいを再生するため、「倉吉市中心市街地活性化基本計画」（平成27年度～）等の取り組みを推進します。

○歴史・文化と調和した市街地の形成

歴史的街なみが残る打吹地区などについて、倉吉市の豊かな歴史・文化と調和した魅力的な街なみの形成を進めます。また、倉吉パークスクエアにおける県立美術館の整備をはじめとし、歴史・文化施設の機能の充実を図り、これらと連携した市街地の形成を図ります。



倉吉パークスクエア

○移住・定住の推進

倉吉市においても人口減少対策は最重要課題であり、若者の定住やI・J・Uターンによる移住の促進を図るため、特色のある農業、工業等の育成を図りながら都市基盤の整った利便性の高いまちづくりを進めます。

また空き家を活用した住宅の提供や移住・定住者への各種助成制度による定住化の促進を図ります。



倉吉市田舎暮らしガイドブック
倉吉市ホームページより

(2) 倉吉駅周辺地区の市街地整備方針

・倉吉駅北側については、駅南北自由通路や土地区画整理事業等の整備の進展した都市基盤を活かし、新たなにぎわいの創出につながる市街地形成を促進します。

また、鳥取短期大学や鳥取看護大学へのアクセス向上と駅周辺の渋滞緩和を図るため県道上井北条線（旧市道駅北通り線）の整備を促進します。

・倉吉駅南側については、増加する空き店舗、空き地等の利活用を促進するため、既存市街地の環境整備を図るとともに、民間による市街地開発や商業施設、サービス付き高齢者住宅などの社会ニーズに合わせた施設の誘導を図り、中部地域の玄関口にふさわしい利便性の高い市街地の形成を推進します。

(3) 歴史・文化と調和した市街地整備方針

- ・伝統的建造物群保存地区を含む打吹地区では建造物の保存や修理修景事業を促進し、歴史・文化の香るまちづくりを進めます。特に赤瓦・白壁土蔵群周辺については、景観に配慮した電柱、街灯の整備やカラー舗装などの道路の美装化を進めてきたところですが、引き続き観光拠点としての魅力を高める施設整備や景観・防災上の効果の高い無電柱化を推進します。
- ・赤瓦・白壁土蔵群や旧明倫小学校の円形校舎を利用したフィギュアミュージアム、建設予定の県立美術館などの観光・文化・商業施設との連携が高まるよう、歩行空間等の環境の整備を行い、回遊性の向上を図ります。



赤瓦・白壁土蔵群の街なみ



県立美術館建設予定地

(4) 移住・定住の推進に向けた市街地整備方針

- ・関金地区は、関金温泉を活かした観光振興を図るとともに近年、農家民泊などの取組みが推進され、観光・レクリエーション拠点としてのポテンシャルが高まり、移住者も増加しています。
- ・豊かな自然、田園環境を求める移住者の増加が関金地区をはじめとし、全市に広がっていることから、引き続き移住・定住を促す自然、田園環境と調和した利便性の高いまちづくりを進めていきます。



関金温泉



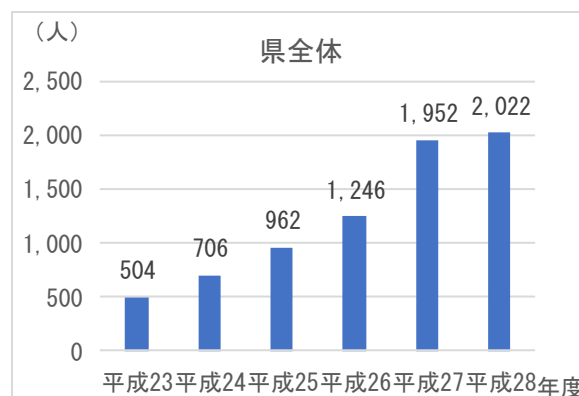
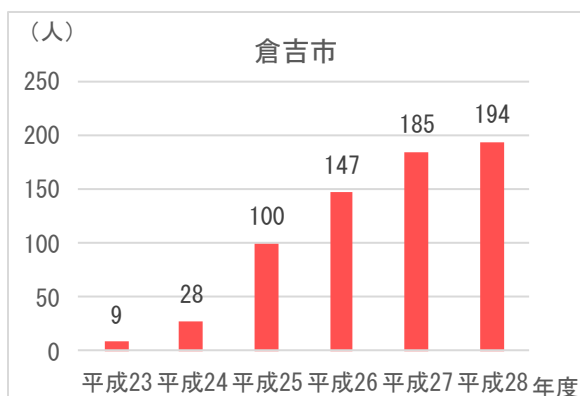
移住・定住体験
倉吉市ホームページより

- ・若い世代など、低所得者に安価な住宅を提供するため、市営住宅など公営住宅を確保するとともに、市民ニーズを踏まえながら必要な改修等を進めていきます。
- ・近年増加の著しい空き家については、「空き家バンク」による移住者等への情報提供や、リノベーションによるシェアハウス、賃貸住宅など魅力的な住宅の提供を促進することにより、I J Uターンを推進するとともに、良好な生活環境を悪化させる危険な空き家の除却等の対策を進めます。
- ・中心市街地においても人口減少が顕著な一方、市街地周辺部では宅地化や民間賃貸住宅の建設が進行している地域があります。比較的安価に利便性の高い居住環境が提供できる地域は、若者の定住促進や市外からの移住の受け皿として有効なことから、子育て環境や生活環境の整備を推進します。



空き家バンク
倉吉市ホームページより

■県外からの移住者の推移



資料：鳥取県への移住状況について（とっとり暮らし支援課）

市街地整備方針 概要図

基本的な考え方

○県中部の中心都市にふさわしい拠点の形成

倉吉駅から打吹地区にかけての中心市街地を核として、県中部の中心都市にふさわしい商業・業務・医療・教育など多様な都市機能の維持・増進と良好な街なみづくりを進めます。

○歴史・文化と調和した市街地の形成

歴史的街なみが残る打吹地区など豊かな歴史・文化と調和した魅力的な街なみの形成を進めるとともに、県立美術館の整備計画をはじめとする歴史・文化機能の充実を図り、これらと連携した市街地の形成を図ります。

○移住・定住の推進

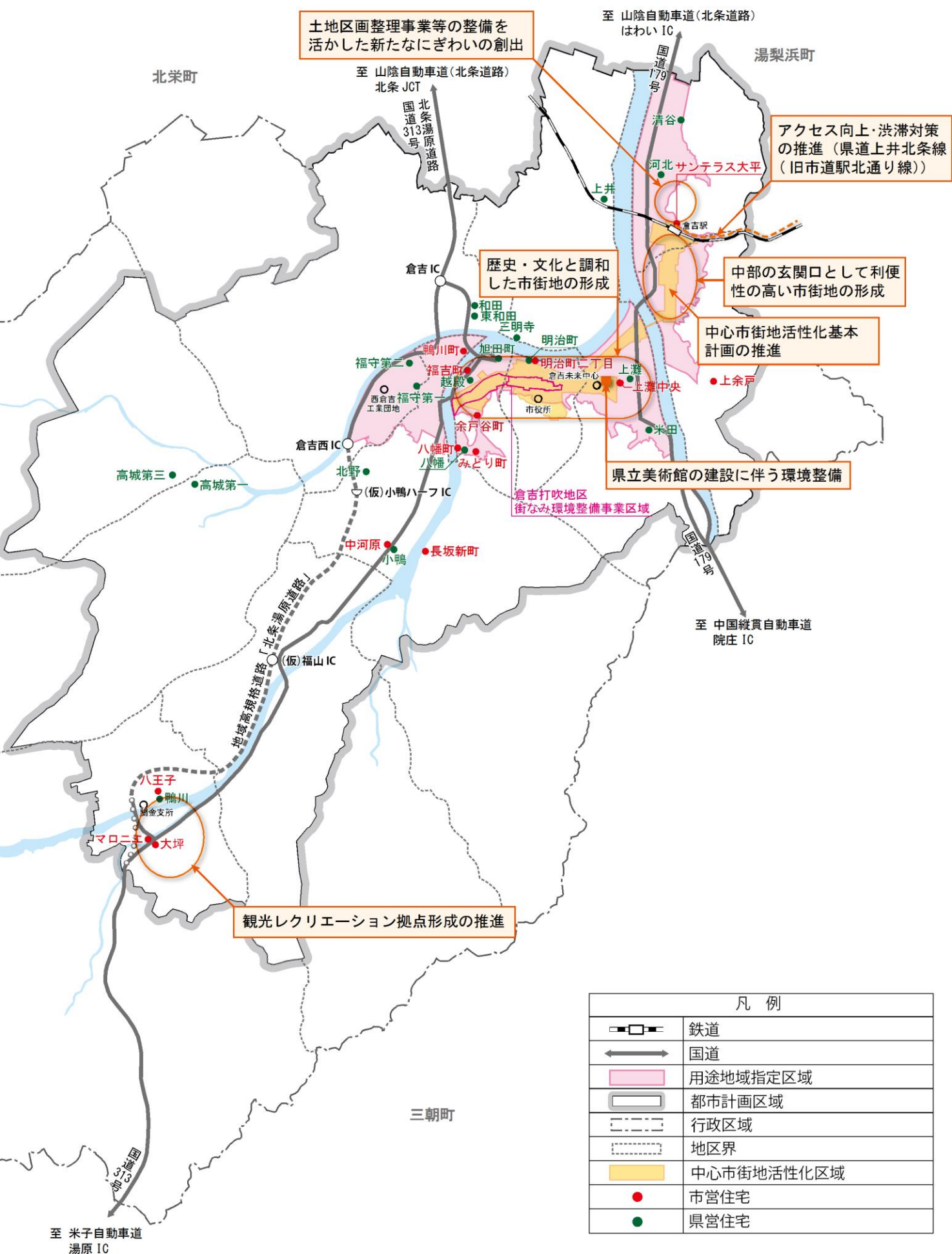
最重要課題である人口減少対策として、若者の定住やI・J・Uターンによる移住の促進を図り、特色のある農業、工業等の育成を図りながら都市基盤の整った利便性の高いまちづくりを進めます。

空き家を活用した住宅の提供や移住・定住者への各種助成制度により定住化を促進します。

※図中のコメントは、位置が特定できるものを記載しています。

江府町

真庭市



4. 都市景観・都市環境の整備方針

(1) 基本的な考え方

○良好な都市景観の保全と活用

四季の彩り豊かな自然景観や地域の風土、文化、生活に根ざした街なみなど共有の財産である優れた景観を守り育て、次代に引き継ぐための取組みを市民とともに推進します。

また、市内に点在する良好な景観を有する施設について、観光資源としての積極的な活用を図ります。特に歴史的街なみが残る打吹地区においては建物の修理、修景を推進し、良好な景観の形成を図ります。

○人にやさしいまちづくり

「鳥取県福祉のまちづくり条例」に基づき、高齢者、障がい者、妊産婦等誰もが安全に安心して活動できるようバリアフリーのまちづくりを進めます。

(2) 都市景観の保全と活用の方針

・「倉吉市景観計画」に基づき、市民の景観意識の醸成を図りながら、都市的景観の整備や自然景観、歴史的景観の保全に努めるなど、倉吉らしい都市景観の形成を図ります。

・打吹玉川地区重要伝統的建造物群保存地区については、歴史的建造物の保存・修理を促進します。特に赤瓦・白壁土蔵群周辺については、倉吉市の観光拠点となっていることから引き続き歴史的景観の保全を推進するとともに、景観・防災上の効果の高い無電柱化を推進します。



くら用心

・倉吉市の北部から隣接する北栄町にかけて広がる水田は、初夏には麦秋景観をたたえ、秋には稲穂が金色に輝く穀倉地帯であり、鳥取県中部の代表的な農村風景を呈しています。このような倉吉市の特徴的な田園環境の保全を図ります。



上北条地区麦畑

(3) 都市環境形成の方針

① バリアフリーのまちづくり

- ・倉吉市の高齢化率は31.7%（平成27年度）であり超高齢社会と言われる21%を大きく越えています。倉吉市が「いきいき」としたまちづくりを進めていくには、高齢者の活躍が不可欠となっています。高齢者をはじめ障がい者、妊産婦等が安全に安心して活動できるよう「鳥取県福祉のまちづくり条例」に基づく公共施設等の整備を推進します。



バリアフリースイレ（さわやかトイレ）

また既存の道路等についても関係機関と連携して段差解消や視覚障がい者誘導ブロックの設置等のバリアフリー化を促進します。

② 地域の防犯対策の推進

- ・防犯上の観点からも、地域コミュニティのつながりを維持していくとともに、道路・公園等で死角を作らない施設の整備や防犯対策のための防犯灯を地域と連携して設置を推進します。また防犯上からも増加する空き家の適正管理を推進します。



LED防犯灯（堺町）

都市景観・都市環境整備方針 概要図

基本的な考え方

○良好な都市景観の保全と活用

四季の彩り豊かな自然景観や地域の風土、文化、生活に根ざした街なみなど景観を守り育て、次代に引き継ぐための取組みを市民とともに推進します。

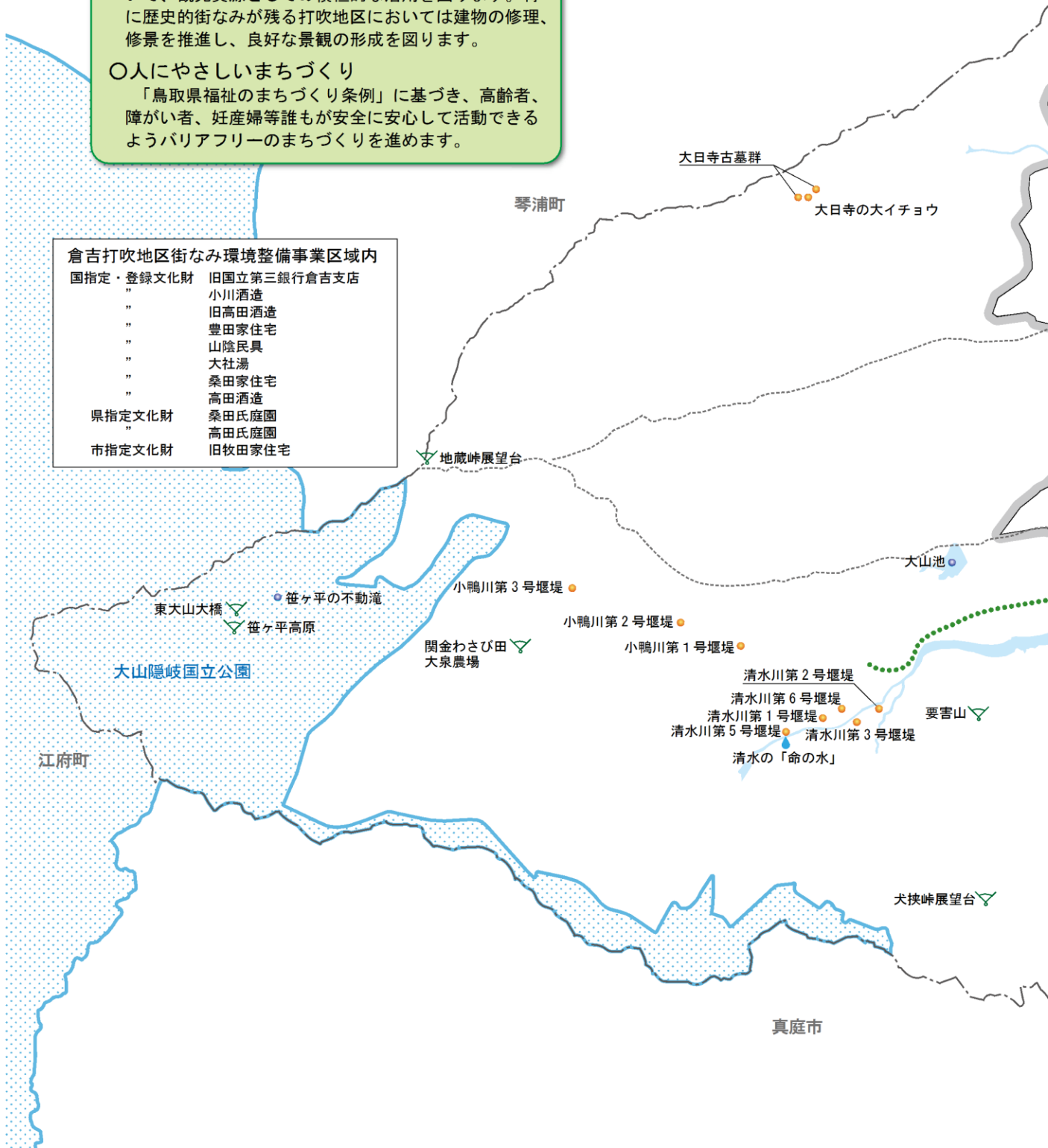
また、市内に点在する良好な景観を有する施設について、観光資源としての積極的な活用を図ります。特に歴史的街なみが残る打吹地区においては建物の修理、修景を推進し、良好な景観の形成を図ります。

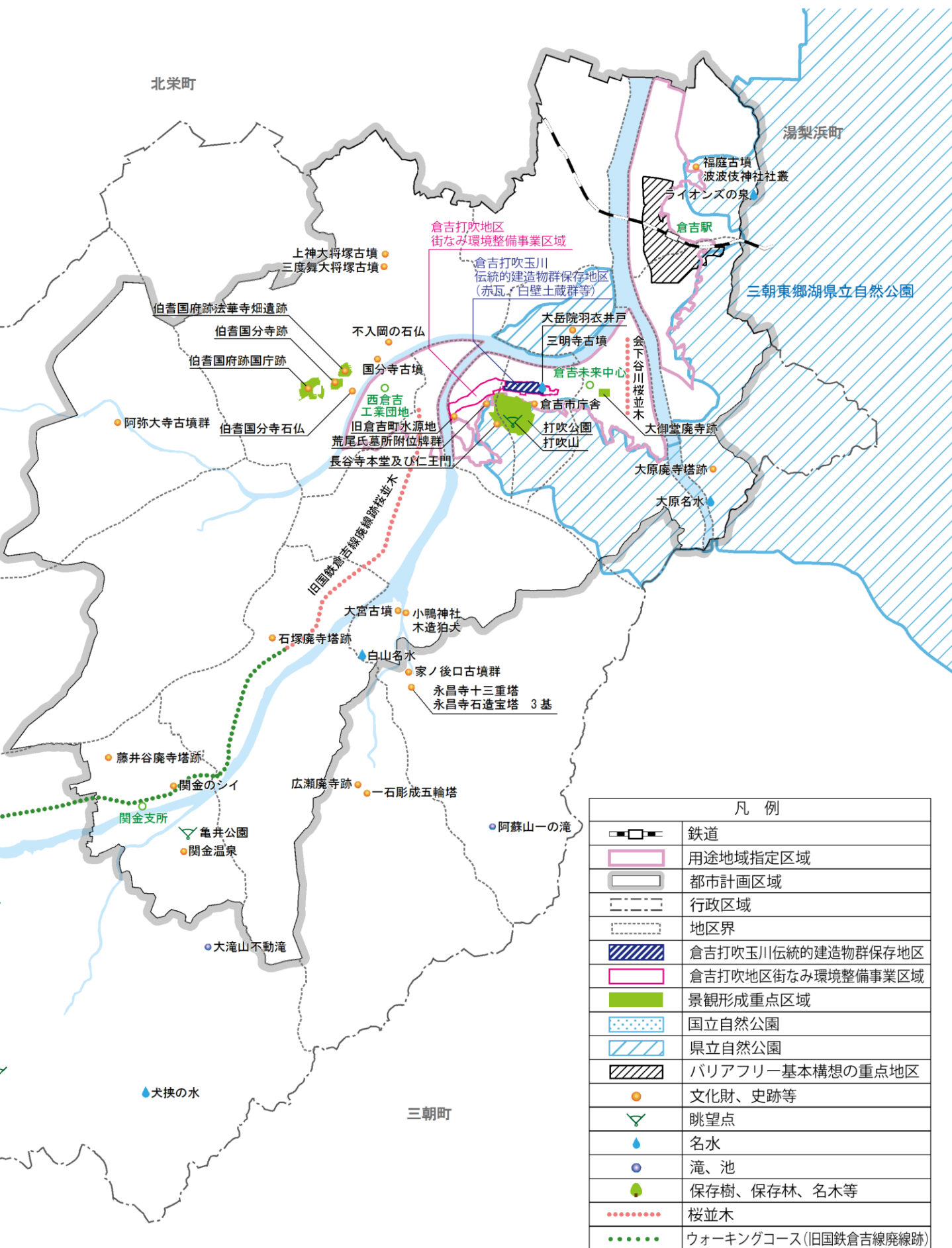
○人にやさしいまちづくり

「鳥取県福祉のまちづくり条例」に基づき、高齢者、障がい者、妊産婦等誰もが安全に安心して活動できるようバリアフリーのまちづくりを進めます。

倉吉打吹地区街なみ環境整備事業区域内

国指定・登録文化財	旧国立第三銀行倉吉支店
"	小川酒造
"	旧高田酒造
"	豊田家住宅
"	山陰民具
"	大社湯
"	桑田家住宅
"	高田酒造
県指定文化財	桑田氏庭園
"	高田氏庭園
市指定文化財	旧牧田家住宅





5. 都市防災の整備方針

(1) 基本的な考え方

○災害に強い都市基盤の整備

全国で大規模災害が頻発し、倉吉市においても平成28年10月21日に最大震度6弱を記録する「鳥取県中部地震」により甚大な被害を被るなど多くの災害に見舞われてきました。これらの災害を教訓に引き続き市民の生命財産を災害から守り、安全な生活環境を確保するため、災害に強い都市基盤の整備を推進します。

また、災害時には、市民と一体となって対応する「自助、共助、公助」による地域防災力の強化を進めていきます。



鳥取県中部地震直後の様子

(2) 災害に強い都市基盤の整備方針

① 都市基盤の防災対策の強化

- ・緊急輸送道路やその他主要道路の橋梁の耐震化や狭隘な避難路の整備等を促進します。また、水道、下水道等の主要施設の耐震化を促進します。
- ・市役所庁舎や学校など主要な公共施設の耐震改修は概ね完了していますが、引き続き公的施設の耐震改修を進めるとともに、民間の住宅や施設についても耐震対策の啓発、耐震診断・改修への助成などにより耐震化を促進します。

② 防災拠点等の強化

- ・市庁舎や市防災センター等の防災拠点機能、地区公民館や学校等の避難所機能など防災機能の強化を図ります。また、備蓄輸送拠点や避難所等について大規模災害を想定した広域的機能の確保を図ります。



倉吉市防災センター

③ 法規制や各種事業による対策

- ・市街地の防災機能を確保するため、良質な宅地開発や建築が行われるよう開発行為や建築確認等において法令に基づき適切な指導を行います。
- ・河川の重要水防箇所や土砂災害危険箇所などにおける災害を防止するため、治水、治山、砂防等の防災対策事業を促進します。

④ 防災体制の強化、防災意識の醸成

- ・災害対策は施設整備だけでは困難であるため、引き続き自治公民館や消防団等の関係機関と連携を図り、「倉吉市地域防災計画」に基づく防災体制の強化を図るとともに、避難訓練や講習会などにより市民の防災意識の醸成や防災リーダー等の人材育成を推進します。



倉吉市消防ポンプ操法大会



倉吉市消防出初式

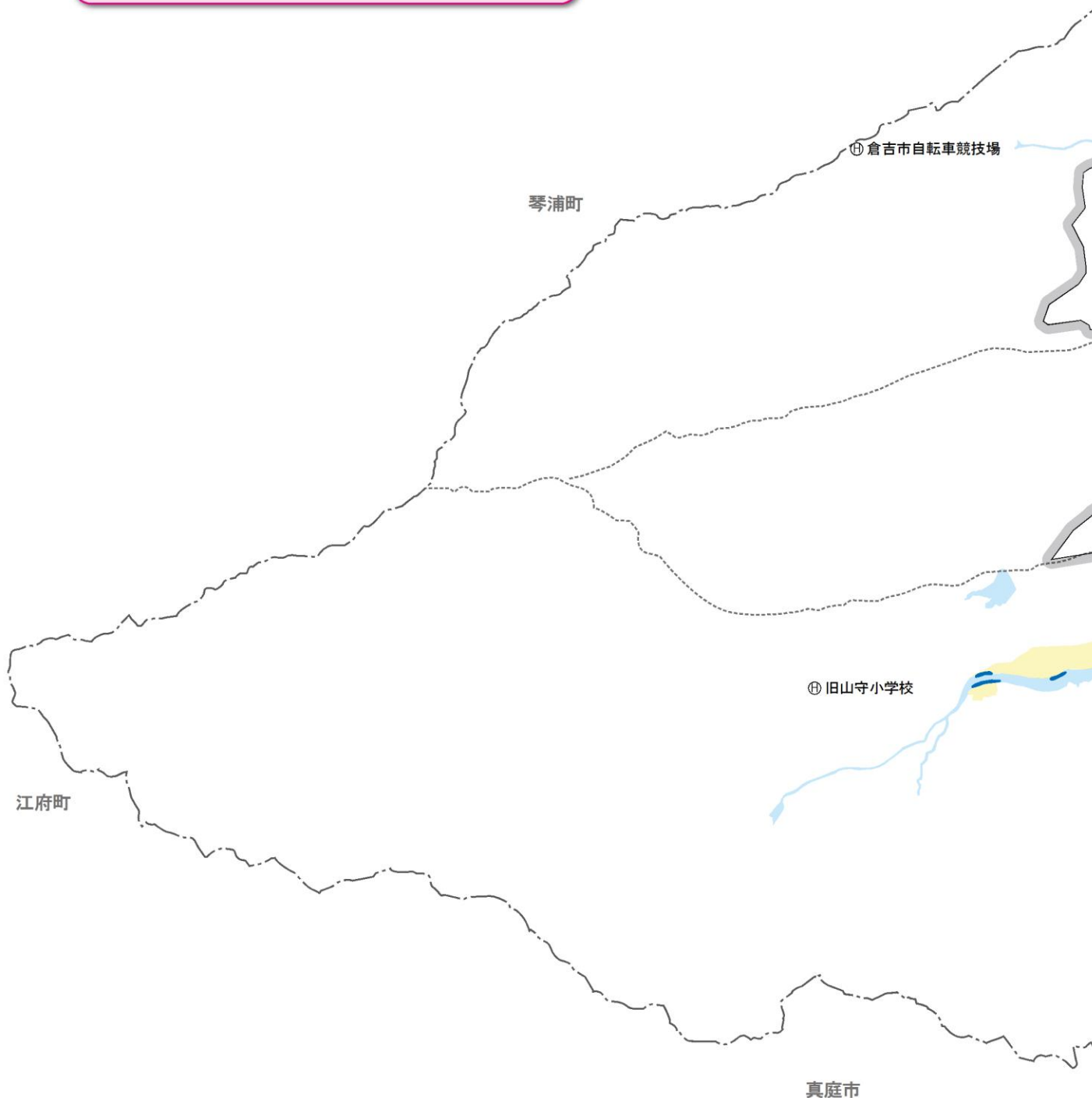
都市防災整備方針 概要図

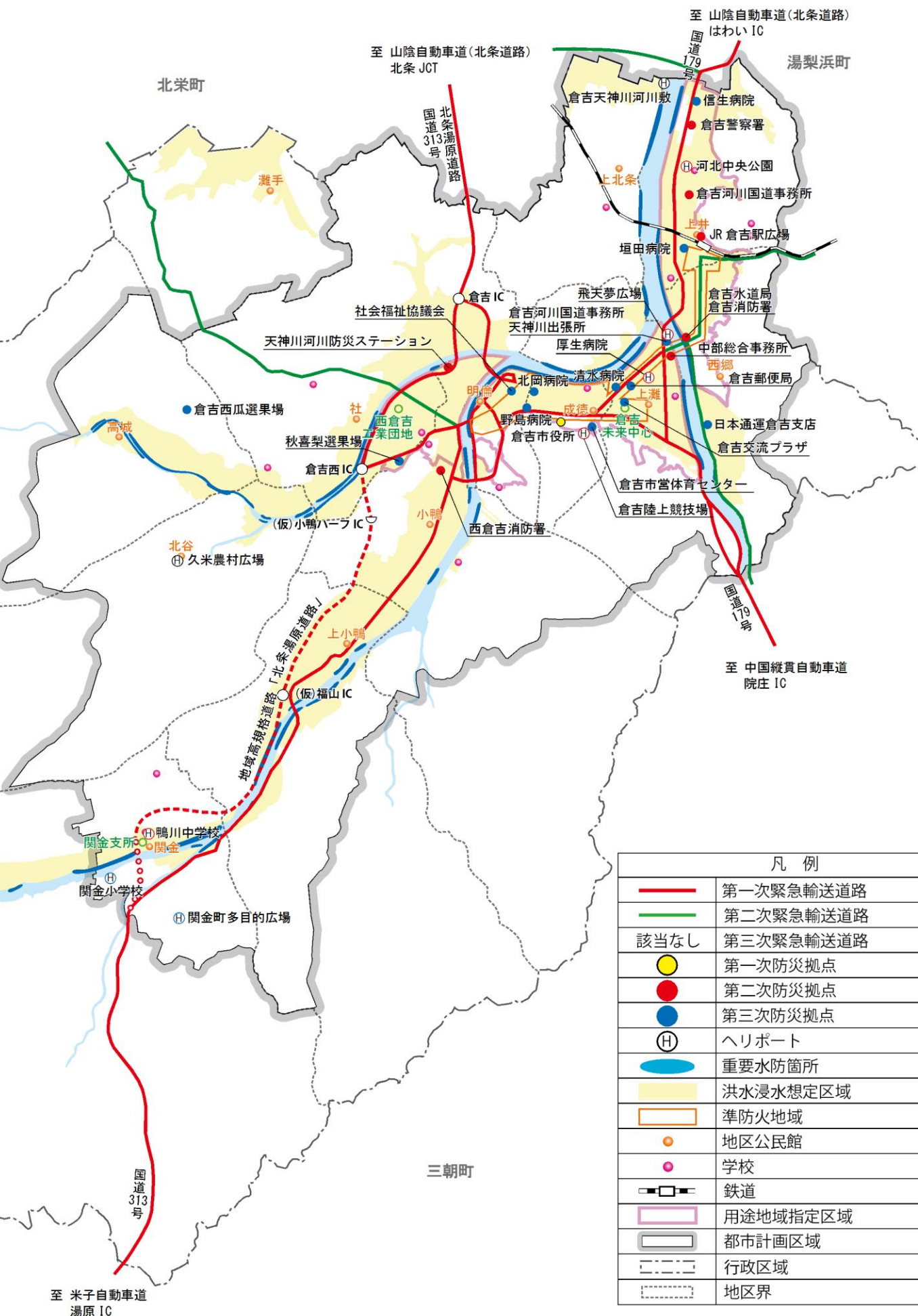
基本的な考え方

○災害に強い都市基盤の整備

「鳥取県中部地震」など多くの災害を教訓に、市民の生命財産を災害から守り、安全な生活環境を確保するため、災害に強い都市基盤の整備を推進します。

また、災害時には市民と一体となって対応する「自助、共助、公助」による地域防災力の強化を進めていきます。





凡例	
—	第一次緊急輸送道路
—	第二次緊急輸送道路
該当なし	第三次緊急輸送道路
●	第一次防災拠点
●	第二次防災拠点
●	第三次防災拠点
(H)	ヘリポート
●	重要水防箇所
	洪水浸水想定区域
	準防火地域
●	地区公民館
●	学校
	鉄道
	用途地域指定区域
	都市計画区域
	行政区域
	地区界